

## パブリックコメント手続き結果概要

### 1. 案件名

「交野市健康増進計画（第3期）」に関するパブリックコメントについて

### 2. 実施機関（担当所管課等）

- (1) 名称 : 交野市健やか部健康増進課
- (2) 所在地 : 交野市天野が原町5-5-1
- (3) 電話番号 : 072-893-2111

### 3. 概況

- (1) 意見等募集期間 : 開始 令和6年12月16日(月) から  
終了 令和7年1月15日(水) まで
- (2) 周知手段 : 広報かたの12月号、交野市ホームページ
- (3) 資料公表場所 : 交野市ホームページ、情報公開コーナー、  
実施機関（健康増進課）の事務所

### 4. 受付した意見等の件数

- (1) 提出人数 : 9人
- (2) 提出意見数 : 12件

### 5. 受付した意見等の結果

- ・第4章「2. 身体活動・運動」に関する意見 : 4件
- ・第4章「6. 喫煙」に関する意見 : 8件

### 6. 意見等に対する考え方・対応

意見者	意見番号	関連ページ	意見等の概要	意見等に対する市の考え方・対応
A	1	第4章 2 身体活動・運動 (1) これまでの取り組みと現状 P. 26	市民ボランティアによるウォーキング活動「歩く歩くDAY」の支援の実施とあるが、「歩く歩くDAY」は交野市が実施している事業であり、ボランティアが手伝っており、市民ボランティアによる活動ではないと思う。	『市民ボランティアによるウォーキング活動「歩く歩くDAY」の支援』を『ウォーキング活動を推進するため「歩く歩くDAY」を開催しました』に修正します。
	2	第4章 2 身体活動・運動 (1) これまでの取り組みと現状 P. 26	「メンバーの高齢化が課題となっている」とあるが、対策に取り組んでほしい。事業の継続が必要と考えているのであれば、ボランティアだけに頼らず、委託なども必要ではないか。	ボランティアの育成等現在のメンバーとも相談しながら、協働で進めてまいります。
	3	第4章 2 身体活動・運動 (3) 今後の方向性 P. 27	歩く歩くDAY についての記載がない。ウォーキングへの動機づけや気軽なウォーキングに寄与していると考える。	『★運動の重要性や効果について周知を行うとともに、 <u>「歩く歩くDAY」の開催等運動のきっかけづくりや運動習慣の定着に向けた取り組みを市民ボランティアとともに</u> 行います』に修正します
B	4	第4章 2 身体活動・運動 P. 28	大人が運動できる器具（体を伸ばしたり、筋力をつけられるもの）のある公園を住宅地の中に作って欲しい。気軽に行ける場所があれば、運動への意識も高まる。市民の交流の場にもなると思う。	P.27「行政や地域が取り組むこと」に記載しております 「身近で身体を動かせる公園や遊歩道等、運動ができる環境の整備」を推進してまいります。
C	5	第4章 6 喫煙 P. 39～P. 41	喫煙の項目の文脈全般にて、「未成年」と「20歳未満」を併用しているため、「20歳未満」という表現に統一した方が良いのではないか。	「未成年」の表記を「 <u>20歳未満</u> 」に修正し、統一します。

意見者	意見番号	関連ページ	意見等の概要	意見等に対する市の考え方・対応
D	6	第4章 6 喫煙 P.40	国や府も「望まない受動喫煙の防止」と表現しており、「青年期・壮年期・高齢期」の取り組みにも「望まない受動喫煙」とあることから、〈共通項目〉も合わせた表現が相応しいと考える。	〈共通項目〉「・受動喫煙をなくしましょう」を「・ <u>望まない受動喫煙</u> をなくしましょう」に修正します。
E	7	第4章 6 喫煙 行政や地域が取り組むこと P.40	「分煙による喫煙所は、多くの人が行き交う場所付近に設置しないようにします。」とあるが、多くの人がいる場所にこそ設置すべきところ、どこに設置するお考えなのか。大阪府は受動喫煙条例が厳しくなると聞いており、お店で吸えない人が外で吸うことが多くなるのではないかと思う。街をきれいにしていくためにも、市が率先して人が多く集まる場所に喫煙所を設置し分煙を進めてほしい。	受動喫煙防止対策については、法令で規制のある施設では必要な措置が取られていますが、その他の施設や屋外では基本的に規制はありません。そのため、規制のない場所では、健康増進法で求められている喫煙者の配慮や事業者等の協力がより重要となりますので、「 <u>喫煙禁止場所以外の多数の人が利用する施設等において、望まない受動喫煙を生じさせることがないよう、喫煙者、施設管理者双方の配慮・協力行動を促す意識啓発を図ります。</u> 」に修正します。
F	8	第4章 6 喫煙 行政や地域が取り組むこと P.40	禁煙支援について、国の基準（第三次健康日本21）でも「たばこをやめたい人」の割合に基づいた計画であることから、喫煙者に対する禁煙支援は「やめたい人」のみを対象とすべきで、計画にも一文を明記してほしい。	「★健康教室や特定保健指導等を活用し、喫煙者に対して健康への悪影響や禁煙のメリットに関する情報等を提供し、 <u>必要な禁煙支援等</u> を行います。」に修正します。
G	9	第4章 6 喫煙 行政や地域が取り組むこと P.40	禁煙支援については、「(全ての)喫煙者」に対する支援ではなく、「喫煙者の内、やめたい人」に対する支援と表記すべき。	上記に同じ

意見者	意見番号	関連ページ	意見等の概要	意見等に対する市の考え方・対応
G	10	第4章 6 喫煙 (4) 評価指標 P.41	喫煙率の目標値が高すぎると考えるため、妥当な計画へ修正すべき。	健康日本21（第三次）の「成人の喫煙率の低下」に対する目標値の考え方を参考に、現在の成人の喫煙率から禁煙希望者が禁煙した場合の割合を減じて「喫煙する人の割合（成人）」の目標値を <u>男性11.6%</u> <u>女性2.4%</u> に修正します。
H	11	第4章 6 喫煙 (4) 評価指標 P.41	どのような根拠で数値を設定したのか明確に回答頂きたい。近年、このような目標値が現状の半分とか根拠なく決められているなど聞くこともあり、憂慮している。国の目標に対しての年代別人口からの算出など、正しい設定を頂くことを希望する。	上記に同じ。
I	12	第4章 6 喫煙 (4) 評価指標 P.41	男女ともに目標としている喫煙する人の割合が低く、現実的な数字でないと考えるため、国が定める目標値の算出ロジックに基づいて検討すべき。	上記に同じ。

### (3) 市民健康意識調査（以下、市民アンケート）

乳幼児の保護者、小学5年生、中学2年生、16～18歳、成人（18歳以上）に対して、アンケート調査を行い、本市の健康づくりや食育に対する現状及び市民の意識の把握を行いました。

○調査期間：令和6年（2024年）2月上旬～2月下旬（3週間程度）

調査対象※	配布数	配布方法・有効回収数 ( )は回答手法	有効回収率
① 18歳以上（成人）	2,100	郵送配布・627（郵送）+103（WEB）=730	34.8%
② 16～18歳 （高校生相当年齢）	1,500	郵送配布・245（郵送）+138（WEB）=383	25.5%
③ 中学2年生 （市立中学校）	636	直接配布・275（学校回収）+172（WEB）=447	70.3%
④ 小学5年生 （市立小学校）	671	直接配布・323（学校回収）+200（WEB）=523	77.9%
⑤ 乳幼児の保護者	384	WEB回答案内配布・81（WEB）	21.1%
全体	5,291	2,164	40.9%

4

※調査対象の構成

①10代を除き、10歳刻みに各年代から無作為抽出

②各年齢から無作為抽出

③全数調査

④全数調査

⑥ 調査期間中の乳幼児健診対象児の保護者の全数

### (4) 関係団体ヒアリング調査

健康づくりや食育推進にかかわる地域団体や企業に対してヒアリング調査を行い、健康づくり・食育推進に関する活動状況を把握するとともに、今後の方針や課題などを聞き取りました。

○調査期間：令和6年（2024年）5月～6月

調査団体	交野市民生委員児童委員協議会、元気アップメイト、交野・畷・大東地域活動栄養士会、健康リーダー（歩く歩く隊含む）、Kid'sサポート☆かたの、校区福祉委員会、交野市商業連合会、健康経営優良法人2024認定企業（6社）
調査方法	アンケート用紙を配布・回収、必要に応じて聞き取り調査

### (5) パブリックコメント

本計画の策定にあたり、意見聴取のためホームページ等において計画案を公表し、市民等の意向を広く反映させることを目的とするパブリックコメントを実施しました。

○調査期間：令和6年12月16日（月）～令和7年1月15日（水）

5

(4) 評価指標

	項目	現状値 令和5年度 (交野市)	現状値 令和5年度 (大阪府)	目標値 令和18年度	
1	特定健診受診率 (国民健康保険加入者)	33.0% (令和4年度)	<del>31.3%</del> 30.8% (令和4年度)	60.0%	
2	特定保健指導実施率 (国民健康保険加入者)	70.6% (令和4年度)	<del>17.0%</del> 18.1% (令和4年度)	80.0%	
3	メタボリックシンドロームの該当者 及び予備群の割合	31.7% (令和4年度)	<del>30.3%</del> 31.0% (令和4年度)	減少	
4	胃がん検診受診率 (50~69歳)	<del>2.7%</del> 2.8% (令和4年度)	<del>4.0%</del> 4.3% (令和4年度)	13.0%	
5	肺がん検診受診率 (40~69歳)	<del>2.7%</del> 4.1% (令和4年度)	4.8% (令和4年度)	13.0%	
6	大腸がん検診受診率 (40~69歳)	<del>2.6%</del> 4.3% (令和4年度)	5.2% (令和4年度)	13.0%	
7	乳がん検診受診率 (40~69歳)	<del>6.9%</del> 7.7% (令和4年度)	<del>13.1%</del> 13.9% (令和4年度)	17.0%	
8	子宮頸がん検診受診率 (20~69歳)	<del>10.4%</del> 11.5% (令和4年度)	<del>15.7%</del> 16.2% (令和4年度)	21.0%	
9	市が実施するがん検診の 精密検査受診率	胃がん	85.7% (令和4年度)	<del>90.7%</del> 92.2% (令和4年度)	全ての検診で 90.0%以上
		肺がん	<del>100%</del> 90.0% (令和4年度)	<del>83.9%</del> 87.2% (令和4年度)	
		大腸がん	<del>80.0%</del> 72.1% (令和4年度)	<del>72.5%</del> 73.9% (令和4年度)	
		乳がん	<del>97.6%</del> 89.0% (令和4年度)	94.4% (令和4年度)	
		子宮頸がん	<del>83.3%</del> 84.2% (令和4年度)	84.9% (令和4年度)	
10	健康経営優良法人認定企業数 (中小企業部門)	8社	2,041社	増加	
11	おおさか健活マイレージ「アスマイル」 を知っている人の割合	13.3%	—	増加	
12	アスマイル登録人数	3,553人	290,849人	増加	
13	地域活動に参加している人の割合	44.8%	—	増加	

## 2 身体活動・運動

### 目標

### 日頃から身体を動かし、運動を習慣化しましょう

#### (1) これまでの取り組みと現状

##### 行政の取り組み

- ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けつつも、公立認定こども園での体操教室や各種体育教室、**市民ボランティアによるウォーキング活動「歩く歩くDAY」の支援を実施しました。ウォーキング活動を推進するための「歩く歩くDAY」を開催しました。**
- ・骨密度測定会等を通して、運動の重要性やフレイル、ロコモティブシンドローム予防の啓発を行いました。
- ・高齢者の運動機能維持・向上のため、元気アップ体操や体力測定会を実施しました。

##### 現状と市民の意識

- ・高齢化の進行とともに、要介護認定者数が年々増加しています。
- ・アンケート結果によると、幼児期を除く全ての年代において、運動習慣がある人の割合は前回調査時より減少しています。
- ・団体ヒアリング結果によると、「元気アップ体操」や「歩く歩くDAY」等の活動において、新規参加者の少なさやメンバーの高齢化等が課題となっています。
- ・共働き世帯の増加等により、仕事や子育てで忙しい世代の地域活動への参加が少なくなっています。

#### (2) 現状からわかる課題

- 運動意識の向上の啓発に取り組むとともに、若い世代を対象とした、忙しくても気軽に継続して取り組める運動等の情報提供を行う必要があります。
- 運動を推進する地域団体の活動を引き続き支援し、周知・啓発する必要があります。
- ウォーキング・スポーツ活動の推進や公園や遊歩道等の公共施設の整備・有効活用によって、市民が自然に健康になれる環境づくりに取り組む必要があります。
- さらなる高齢化の進行と要介護認定者数の増加を見据え、引き続き高齢者介護予防事業を行うとともに、介護を必要とする人を増やさないために、ロコモティブシンドロームやフレイル、骨粗鬆症等に対する予防及び改善のための対策を検討する必要があります。

### (3) 今後の方向性

#### 個人や家庭で取り組むこと

<共通項目>

- ・遊びや日常生活の中で、こまめに身体を動かし、運動習慣を身につけましょう。
- ・生活習慣病をはじめとする病気のリスクを減らすため、座りっぱなしの時間を減らし、身体を動かすように心がけましょう。

妊娠期・授乳期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体調に合わせて、適度な運動を行いましょう。</li> </ul>
乳幼児期 学童期・思春期 (0～17歳)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動の効果や必要性について理解しましょう。</li> <li>・生活リズムを整え、身体を使った遊びやスポーツを通じて、基礎体力をつけましょう。</li> <li>・1日60分の身体活動をするようにしましょう。</li> <li>・1週間に3日以上、元気に身体を動かしましょう。</li> <li>・座りっぱなしを避けるため、長時間のテレビゲームやスマートフォンなどの利用に気をつけましょう。</li> </ul>
青年期・壮年期 (18～64歳)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・普段の生活で歩く機会を増やし、<b>運動や家事などの生活活動を含め</b>、1日8,000歩を目指しましょう。</li> <li>・自転車や徒歩など、通勤時間を利用して身体を動かしましょう。</li> <li>・デスクワークのときも、30分に1度は立ち上がり、身体を動かすようにしましょう。</li> <li>・ロコモティブシンドロームや生活習慣病等に関する知識を身につけましょう。</li> <li>・週に2～3日は筋トレを行いましょう。</li> </ul>
高齢期 (65歳以上)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今よりも少しでも歩く機会を増やし、<b>運動や家事などの生活活動を含め</b>、1日6,000歩を目指しましょう。</li> <li>・非活動的な生活様式がロコモティブシンドロームやフレイルにつながることを理解し、外出の機会を増やしましょう。</li> <li>・テレビやスマートフォンなどの利用で座りっぱなしにならないようにしましょう。</li> <li>・週2～3日の筋トレを取り入れるようにしましょう。</li> <li>・生活習慣病予防、介護予防に効果的な運動を学び、実践しましょう。</li> </ul>

#### 行政や地域が取り組むこと

(★行政 ☆地域)

定期的な運動習慣を身につける	<ul style="list-style-type: none"> <li>★運動の重要性や効果について周知を行うとともに、<b>「歩く歩くDAY」の開催等運動のきっかけづくり</b>や<b>運動習慣の定着に向けた取り組みを市民ボランティアとともに</b>行います。</li> <li>★園・学校と連携し、身体を使った遊びの重要性を周知し、親子で運動する機会を持てるよう取り組みを行います。</li> <li>★関係機関・団体等が開催するスポーツイベント等の情報を積極的に発信するとともに、運動に取り組む自主的グループの活動支援を行います。</li> <li>★特定健診の結果、特定保健指導が必要な人に対し、運動習慣の定着に向けた支援を行います。</li> </ul>
----------------	---

	<p>★身近で身体を動かせる公園や遊歩道等、運動ができる環境の整備に努めます。</p> <p>☆地域活動団体において、それぞれの活動の中で、自宅や職場で気軽に取り組むことのできる運動を紹介します。</p> <p>★元気アップ教室等の地域活動団体の新規参加者を増やすため、広報やSNSを活用した周知・啓発を行います。</p> <p>☆職場において、従業員が運動に取り組むことができる環境づくりや意識啓発を推進します。</p> <p>★☆地域で運動等に取り組む団体等の活動を支援し、仲間づくりや交流を通して、活動の活性化を図ります。</p>
1日の歩数を増やす	<p>★府が提供するスマートフォンアプリ「おおさか健活マイレージ アスマイル」の利用促進やイベント実施等により、ウォーキングへの動機付けを支援します。</p> <p>★☆各種イベントを通じ、ウォーキングをはじめとした健康づくりに効果的な運動の紹介や、仲間づくりを促進します。</p> <p>★☆市民が気軽にウォーキングに取り組めるよう、ウォーキングマップの活用と啓発を促進します。</p> <p>☆職場において、従業員に対し、通勤時や職場内で歩くことを推奨します。</p>
運動機能を維持・向上させる	<p>★ロコモティブシンドロームやフレイル等の予防に向けた啓発を行います。</p> <p>★☆元気アップ体操等を通じて、運動機能を維持向上する機会を提供し、生活習慣病・ロコモティブシンドローム・フレイル・介護予防に効果的な運動を広めます。</p> <p>★介護予防に取り組む自主グループの活動支援を行います。</p> <p>★☆高齢者の社会参加や趣味活動の機会を増やします。</p>

#### (4) 評価指標

	項目	現状値 令和5年度 (交野市)	現状値 令和5年度 (大阪府)	目標値 令和18年度
1	日常生活でできるだけ身体を動かすようにいつも心がけている人の割合	41.0%	—	増加
2	こどもの1週間の総運動時間 (小学校5年生)	男子 551.6分 女子 305.5分	—	男子 607分 女子 336分
3	日常生活における歩数※1	男性 7,261歩 女性 5,134歩	男性 7,647歩 女性 5,765歩	男性 8,000歩 女性 7,000歩
4	運動習慣者※2の割合(成人)	19.5%	36.2% (令和4年度)	31.0%
5	「ロコモティブシンドローム」を知っている人の割合	14.5%	—	増加
6	「フレイル」を知っている人の割合	23.0%	—	増加

※1：歩数の目安は、10分歩くと約1,000歩です。

※2：運動習慣者：運動を1日30分以上・週2回以上・1年以上継続している人

### (3) 今後の方向性

#### 個人や家庭で取り組むこと

##### <共通項目>

- ・たばこや加熱式たばこを吸っている人は、禁煙に取り組みましょう。
- ・望まない受動喫煙をなくしましょう。

妊娠期・授乳期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・妊娠中・授乳中の喫煙が赤ちゃんに及ぼす影響を理解し、妊娠中や妊娠の可能性がある場合、喫煙をしません。</li> </ul>
乳幼児期 学童期・思春期 (0～17歳)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・たばこの害や未成年20歳未満の人の喫煙の危険性について正しい知識を身につけましょう。</li> <li>・20歳未満の人は喫煙をしてはいけません。</li> <li>・自分からは、たばこの煙に近づかないようにしましょう。</li> </ul>
青年期・壮年期 高年齢期 (18歳以上)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こどもの前でたばこは吸わないようにしましょう。</li> <li>・受動喫煙に十分配慮し、こどもや妊婦等を受動喫煙から守りましょう。</li> <li>・20歳未満の人・妊婦等の喫煙を看過せず、注意を促しましょう。</li> <li>・受動喫煙の影響について正しく理解し、自分の身を守りましょう。</li> <li>・喫煙者は、できるだけ早期に禁煙に取り組みましょう。</li> <li>・喫煙をする場合は、望まない受動喫煙に十分注意しましょう。</li> </ul>

#### 行政や地域が取り組むこと

(★行政 ☆地域)

喫煙者を 減少させる	<ul style="list-style-type: none"> <li>★健康教育や健診等を通じて、がん、循環器疾患、COPD（慢性閉塞性肺疾患）等の喫煙関連疾病に関する情報を提供します。</li> <li>★☆健康教室や特定保健指導等を活用し、喫煙者に対して健康への悪影響や禁煙のメリットに関する情報等を提供し、必要な禁煙支援等を行います。</li> <li>★たばこ、加熱式たばこ、電子たばこの害について、広報誌やポスター掲示、リーフレット配布等により市民に普及・啓発を行います。</li> </ul>
妊婦・20歳未満 の人の喫煙を なくす	<ul style="list-style-type: none"> <li>★妊娠中・授乳中の喫煙が赤ちゃんに及ぼす影響を周知し、喫煙している場合は指導を行います。</li> <li>★未成年20歳未満の人の喫煙をなくすため、学校教育において喫煙防止教育を行います。</li> </ul>
望まない 受動喫煙を なくす	<ul style="list-style-type: none"> <li>★受動喫煙による健康への悪影響についての知識の普及や、喫煙マナーの向上に向けて普及・啓発を行います。</li> <li>★喫煙禁止場所以外の多数の人が利用する施設等において、望まない受動喫煙を生じさせることがないよう、喫煙者・施設管理者双方の配慮・協力行動を促す意識啓発を図ります。</li> <li>★☆園・学校や地域団体等と連携し、受動喫煙防止に関する知識の普及・啓発を行います。</li> <li>★市が管理する全公共施設敷地内禁煙を継続します。</li> <li>★<del>☆職場や自治会等において、多くの人が利用する施設、会合、行事などでは禁煙・分煙をすすめます。</del></li> </ul>

#### (4) 評価指標

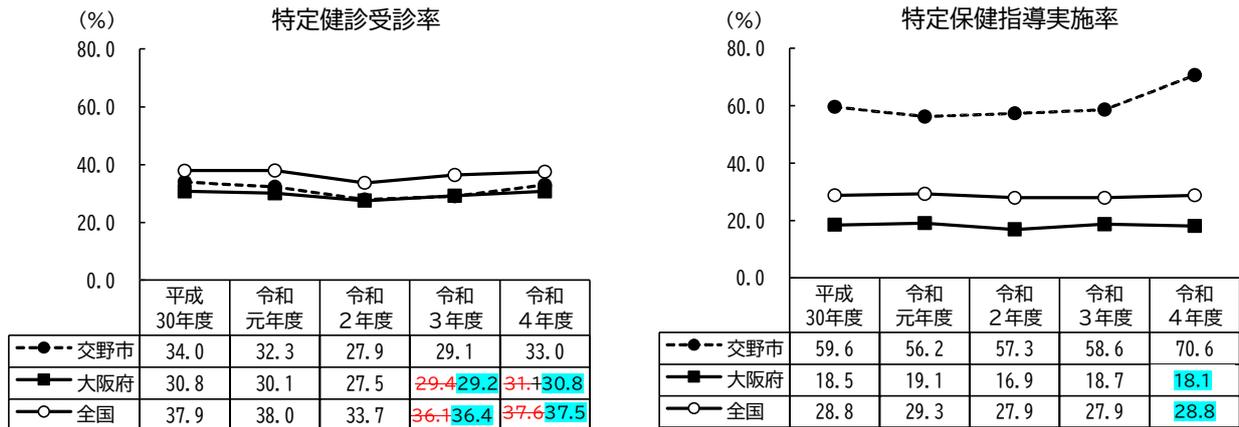
	項目	現状値 令和5年度 (交野市)	現状値 令和5年度 (大阪府)	目標値 令和18年度
1	喫煙する人の割合 (成人)	男性 15.6% 女性 5.2%	男性 19.5% 女性 7.4% (令和4年度)	男性 <del>7.5</del> 11.6% 女性 <del>2.6</del> 2.4%
2	16~18歳の喫煙経験のある人の割合	0.8%	—	0%
3	喫煙する妊婦の割合	3.0% (令和4年度)	2.4% (令和4年度)	0%
4	「受動喫煙」を知っている人の割合	72.5%	—	増加
5	目の前でタバコを吸う家族がいる幼児の割合	4.9%	—	0%

## ②-1 交野市国民健康保険における特定健診受診率・特定保健指導実施率

特定健診受診率は、令和2年度（2020年度）にやや落ち込んだもののその後回復し、令和4年度（2022年度）では33.0%となり、令和3年度（2021年度）を除いた各年度で大阪府より高くなっています。しかしながら、全国と比較すると、各年度全国を下回る水準で推移しています。

特定保健指導実施率については、令和元年度（2019年度）に落ち込んだもののその後増加に転じ、令和4年度（2022年度）では70.6%となっています。各年度、全国・大阪府の値より高い水準で推移しています。

【図12：特定健診受診率・特定保健指導実施率の推移】

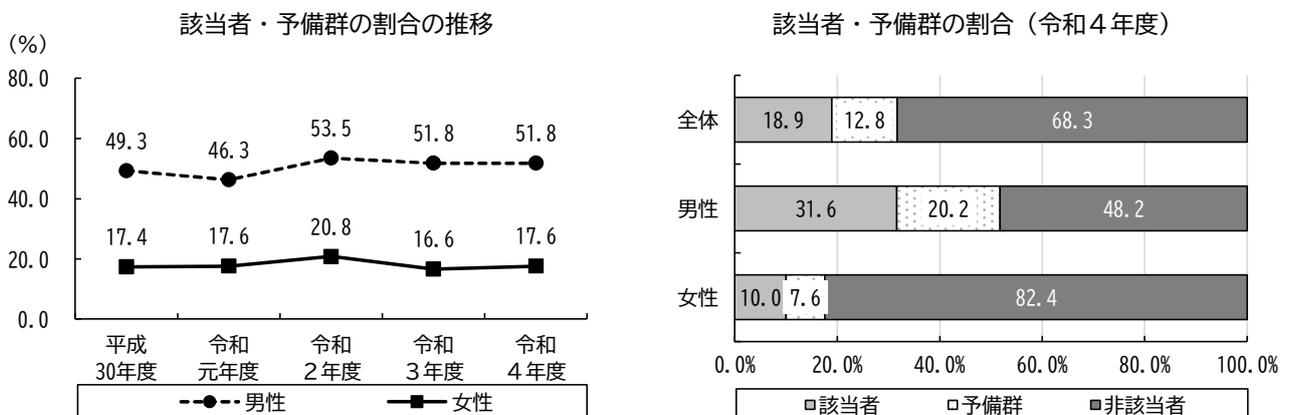


出典：特定健診データ管理システム「特定健康診査・特定保健指導実施結果報告（TKCA011）」

## ②-2 メタボリックシンドローム該当者・予備群の割合

特定健診受診者に占めるメタボリックシンドローム該当者・予備群の割合は、男女ともに増減を繰り返しています。該当者・予備群の割合は女性より男性で高い傾向にあり、令和4年度（2022年度）では、男性が51.8%（該当者：31.6%、予備群：20.2%）、女性が17.6%（該当者：10.0%、予備群：7.6%）となっています。

【図13：メタボリックシンドロームの該当者・予備群の割合】



出典：特定健診データ管理システム「特定健康診査・特定保健指導実施結果報告（TKCA011）」